

いいやまの



このコーナーは市内の「今、ここが見どころ!!」を紹介するコーナーです。新幹線で訪れた観光客や帰省されたご親類の方々にお伝えいただくのはもちろん、市民の皆さんにも、もう一度飯山の素晴らしいところに気づいていただく情報をお伝えしていきます。

第2回

色鮮やかな花々が咲く原生花園 斑尾高原の沼の原湿原

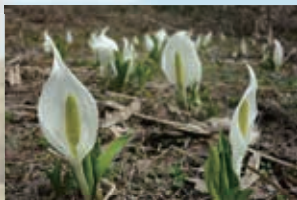


はつきりとした四季の中に、優しい自然が広がる標高1000m、飯山市と新潟県妙高市にまたがる斑尾高原。長い冬を終え、ようやく訪れた遅い春にさまざまな花が咲き競うのは斑尾高原のビジターセンター山の家から車で5分の場所にある「沼の原湿原」(妙高市地籍)です。

21haの広大な沼の原湿原では5月上旬からミズバショウ、リュウキンカなどの花が咲き始め、6月頃になると、咲く花の種類も増えてきます。湿原内は遊歩道が整備されていて、30分～1時間30分程度で散策が可能です。山の家で事前に申し込むと地元トレッキングガイドによるガイド(有料)を受けることもできます。

沼の原湿原で見ることができる植物

ミズバショウ



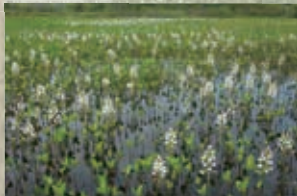
(4月下旬～5月下旬)

リュウキンカ



(4月下旬～5月下旬)

ミツガシワ



(5月下旬～6月中旬)

カキツバタ



(6月上旬～7月上旬)

※標高1000mの斑尾高原では6月中はまだまだ肌寒い日もあります。お出かけの際には防寒着などをご持参ください。

お問い合わせは

斑尾高原観光協会(まだらお高原山の家) ☎64-3222 まで

わが家の人気者



常盤地区
3歳7か月
No.350

高橋陽斗くん
はると

妹の結月(ゆづき)ちゃん

パパとミニカーで楽しく遊んだり、最近買ってもらった自転車で乗って散歩に行くのが好きです。
食べ物には漬物やイモナマスなどの伝統料理、郷土料理が好きです。
4月に保育園に入園し、毎日楽しく通っています。
気が小さく恥ずかしがり屋の陽斗くんですが、妹の結月ちゃんの面倒をよく見てくれる優しいお兄ちゃんです。

(正樹さん、美香さんの長男)

このコーナーに出してみませんか?

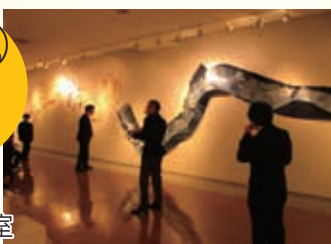
「わが家の人気者」に登場していただける2〜3歳くらいのお子さんとお母さんまたはお父さんを募集しています。市役所庶務課秘書広報係までご連絡を! ☎(02)311-1500(内線300)

美術館情報

企画展「Beyond the paper やまふところ 和紙 齋藤一郎展」
ギャラリートークのお知らせ

6/6 ±

14:00～
美術館展示室



齋藤一郎さんのお話を聞きながら、担当学芸員がご案内いたします。

材料であるコウゾや土、作品

を生み出す上で重要な要素となる道具等、制作の逸話を作家本人から聞き、その人柄に触れることで、それまで知らなかった世界を覗くことができたり、新しい発見があります。参加者のご質問にお答えしながら鑑賞を進めていきますので、専門的な話に偏ることなく、どなたでも気軽にお聞きいただける内容です。ぜひご参加ください。

※参加費無料(要入館料/市内の小中学生無料)、申込不要

【入館料】 一般300円 ※飯山市内の小中学生は無料

【問合先】 飯山市美術館 ☎62-1501

編集後記

その場にいらつしやる方の声をお伝えすることで、読まれた方に臨場感を与えられればと考え、イベント等に参加された方からコメントをもらうことが多いのですが、突然の質問の中でも、印象深かったことなどを思い出しながら簡単明瞭に受け答えしてくださる方が多く、ありがたいなと感じています。▼「きれいー!!」、「何これー」、「すげえな」、「これは私の質問への答えではありません。菜の花公園の入り口で私の耳に入ってきた来場者の方の声です。▼一面に広がる黄色い菜の花と干曲川、山々の景色の美しさに無意識に出してしまった声ではないかと思えます。紙面には掲載していませんが、こんな自然の声も会場では飛び交っていました。▼来場者数は昨年より微減という今回の菜の花まつりでしたが、美しい自然のインパクト、原風景の残る飯山の印象を来場者の方々、一人ひとりに与えられたのではないかと思えます。小野沢